

今回のように、With コロナの中でも、できることを見つけていく姿勢で、今後は誰もが安心して参加できる「プチサロン」の実現に向け、ふくきた委員会・事業所・区役所・社協、皆で知恵を出し合っ

て努めていきたいです。
※セルプ製品とは…Selfeet「自助自立」から作られた造語です。障がいのある方が、心をこめて作った製品

市総合社会福祉会館7階にて、「ふくちゃんきたちゃん福祉のお店」が実施されました。この催しは、区内の障がいのある方を支援する事業所が一堂に集まり、製造・販売しているセルプ製品※を販売する場です。

今回実施した「福祉のお店」は、例年実施している「プチサロンふくちゃんきたちゃん」の代替事業として実施されました。本来であれば、「プチサロン」は年間4回の実施。セルプ製品の販売と、区内のボランティア・事業所のつながりをつくることを大きな目的としています。

「コロナ禍でこのような企画が成り立つかと不安でしたが、いざ開催してみると、運営のボランティアさん、事業所のみならず、開催を聞きつけに参加いただきましたみなさま」総勢200名余と、大盛況で無事終えることができました。

この結果は、今まで築き上げてきた北区のつながりなしでは実現できるものではなく、「コロナ禍で希薄になりがちながりの大切さを改めて実感させてくれるものでした。」
今回のように、With コロナの中でも、できることを見つけていく姿勢で、今後は誰もが安心して参加できる「プチサロン」の実現に向け、ふくきた委員会・事業所・区役所・社協、皆で知恵を出し合っ



動画配信予定だよ
詳しくは下の四角を見てね！

ちいきほっとニュース

第40号
発行 北区社会福祉協議会
〒462-0844
北区清水四丁目17-1
北区在宅サービスセンター内
電話:915-7435
FAX:915-2640

ふくちゃんきたちゃん 福祉の店を開催しました (10月2日実施)



ふくきた相談会を開催 (8月11日実施)



「コロナ禍において、思うようにボランティア活動ができないが、何かできることはないだろうか?」「新しい生活様式を取り入れながら、上手に活動している事例はないだろうか?」
ボランティアや地域活動者のみなさんは、二月下旬から新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、いつものような活動が出来ない状況が続いています。

ふくきた委員会では、みなさんが抱えるそんな「モヤモヤ感」を話し合える場を作れないかと話し合いをしました。当初は、研修会を企画していましたが、ちょうど県独自の緊急事態宣言が出ている時期でもあり、まだ集まり話し合いをするのは時期が早いのではないかと。研修会は止めた方がよいのではないかと。メンバーからは色々な意見が出ました。その結果、まずはふくきた委員会と社協で、困っている活動者の話を聞く相談会を実施しようということになりました。

当日は予想以上に参加してくださる方が多く、感染予防をし、全員で思いを交換し合いました。参加者からは前向きな意見が多く出されましたが、まだまだみなさん模索中であることも分かりました。参加された一部の方のインタビューを社協ホームページ内のふくきたチャンネル(YouTubeチャンネル)から見ることが出来ます。ぜひご覧ください。

With コロナの時代をどのように活動していくかまだまだ模索が続きます。みなさんの声をいつでもお聞かせください!。お待ちしております。

動画ページの開き方

1. トップページより以下のボタンをクリック



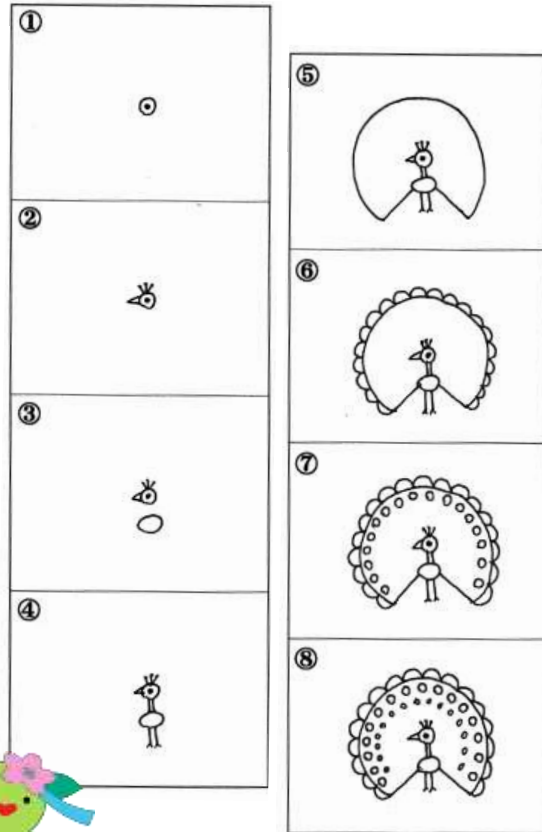
2. QRコードを読み込む



地域イベント情報大募集! お電話 ☎ 915-7435 お待ちしています。

これであなたもお絵かき名人! お絵かき辞典コーナー ~その9~

自分で絵を描くのが苦手でも、順番に書いていけばステキな絵が完成します。楠学区にお住まいの楠三郎さん(ペンネーム)によるお絵かき辞典です。第9回は、くじゃくです。



置かれた場所で咲きなさい

本年4月に事務局次長に就任した岡野と申します。私の選んだこの言葉は広く知られている渡辺和子さんの著書のタイトルです。個人的には「どんな環境でも最善をつくす」という、とても前向きな言葉だと理解しています。私は人事異動があるこの言葉が頭に浮かび、常に誠実で謙虚な姿勢であるべきことを思い出させてくれます。

また同著書には「どうしても咲けないときは根を下へ下へ伸ばしましょう」という言葉もあります。今のコロナ禍では様々な制限や自粛が求められ、「咲きたくても咲けないこと」が多くあります。…咲くことへの熱意は絶やさず、いつか大きくなる咲ける時のために、今できることを精一杯やり根を強く伸ばしていきたいです。



防災まめ知識

~その24 警視庁警備部災害対策課ツイッター④~

~南海トラフ巨大地震がやってくる!? 私たちにできること その24~

■ 警視庁警備部災害対策課ツイッター※をご存知ですか? 【引用:「警視庁HP」】

『警視庁警備部災害対策課』が発信しているツイッターをご存知ですか?。ツイート総数(発信の数)は2000以上、フォロワー数(購読者)は約80万人と大人気で、親しみやすくお役立ち情報満載です。今号では、「災害対策課ツイッター」で多くの「いいね」を集めたツイートをご紹介します。

※ツイッターとは:1回につき140文字までのテキスト(=ツイート)を投稿するもの。

◆ 固くなった瓶のふたはこうして開ける (2018年8月27日配信)

瓶のふたが開かなくて困った時、瓶を逆さまにして手のひらで叩くという方法があります。瓶の底を叩くと振動が与えられ、それによって瓶とふたの間に空気が入り、あけやすくなるためです。原始的な方法ですが、災害時で手元に道具がないときには有効だと思いますので、一度試してはいかがでしょうか。



ふたが開かない瓶



瓶を逆さまにします



←あまり強くたたくと瓶が割れたり、手を痛めたりする可能性があるので十分注意してやってみてください

<http://www.kitashakyo.jp/>

ホームページから
カラー版をご覧いただけます

警視庁警備部災害対策課の公式アカウント https://twitter.com/MPD_bousai

↓ 城北 みんなの食堂



食材提供
& 手作り
弁当配布



↓ こども食堂おかださんの台所



↓ ソーネみんなでごはん



子ども食堂はお休みだけど… フードパントリー & 弁当配布 実施しています

↓ 西味碗ふれあい食堂



↓ ふれあいこども食堂たばたん♪



※9月末取材時から実施内容が変わっている場合がございます。詳しくは各食堂のホームページなどをご確認ください



名古屋高速道路公社様の鯖缶やビスケットなど(右)と
手作りマスクと巾着(左)

付をいただきました。フードパントリーに参加したお子さんや親御さんは大変喜ばれていたそうです。

この他にも、多くの方々の温かい支援と子ども食堂のみなさんの働きかけによってこの活動は支えられています。長引くコロナの影響で食堂のニーズは高まる一方で、感染リスクにも気をつけなければいけない今、『フードパントリー』活動は、必要な方に温かい支援をつなぐ場となっています。実施については、各団体のホームページやFacebookで告知をご覧ください。

コロナの影響で子ども食堂が開催できない！。今できることを。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、食堂の開催が困難な状況下でも、子ども食堂はがんばっています！。北区内の多くの子ども食堂で、食堂を開催する代わりに、『フードパントリー』を実施しています。『フードパントリー』とは、食料を無料で配布するための地域の拠点です。赤い羽根共同募金の助成金を活用したり、フードバンクからの寄付や、企業や団体、個人から寄付された食料を袋詰めにして必要とする方々に配布しています。また、寄付された食品を使ったり、近隣の飲食店と連携して、お弁当を配布しているところもあります。

寄付の輪も広がっています

名古屋高速道路公社様より、公社の災害時備蓄の食品で、期限が近いものを寄付できないかと本会に相談をいただき、鯖缶、ビスケット、白飯などを北区内の子ども食堂の『フードパントリー』活動に役立てていただきました。また、子ども食堂おかださんの台所では、同学区在住の後藤さんより、かわいい手作りマスク40枚のほか、歯ブラシ、コップ、きんちゃく袋のアメニティセットの寄